

令和元年度における歴史民俗資料館の管理運営に対する評価票

所管課：教育委員会 生涯学習推進課

評価対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

評価委員会開催日：令和2年9月17日

1 指定管理者

指定管理者	地域文化財研究所・ケントクグループ
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年間）
施設概要	発掘による埋蔵文化財や、市民から寄贈された農具、民具などの民俗資料が多くあることから、これらを収蔵し、展示、公開するとともに、長年にわたり伝えられてきた民話の紹介などイベントの開催やリーフレットの発行などにより、特徴ある郷土の歴史、文化をより深く理解し、誇りと親しみを感じてもらうことを目的とする。
指定管理料	11,176,000円（令和元年度）

2 管理運営の内容

項目	令和元年度の状況
運営状況	<p>(1) 平等利用の確保</p> <p>①職員に対する接遇教育や、案内資料の整備、ミーティングを通じた意思統一などにより来館者への平等で均一なサービスの提供に努めた。</p> <p>②車椅子で来館の方は介助者と来館されるため、職員は介助の妨げにならないよう配慮した。障がい者が使いやすい共用トイレがあるので、トイレ使用目的の方も多く、公共施設としての役割を果たした。</p> <p>(2) 自主事業の展開</p> <p>施設の特色を生かし、目的に沿ったイベントを重点に計画して大人向け有料講座「考古学講座 歩いて学ぶ考古学講座」など年間11件の自主事業を実施した。また特別展など教育委員会との共催事業（年間9件）についても全面的に協力した。</p> <p>文化財フィギュア（土器・埴輪・仏像等）のガチャガチャを設置した。</p> <p>(3) 施設の情報提供</p> <p>①ポスター、市広報誌、当館HPなどにイベント情報を掲載。「馬を介在されたメンタルヘルス研修会」で館長が講演し、本市のPRを行なった。</p> <p>(4) 安全確保対策</p> <p>①災害の際、緊急ネットワークが機能するよう緊急連絡先の掲示などを行った。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月29日から市教育委員会の指導のもと休館した。</p>
維持管理状況	<p>(5) 保守点検</p> <p>①各設備の稼働状況に合わせた最適なメンテナンス計画を立て実施した。</p> <p>②ABC粉末消火器10型（畜圧式）10年経過するため交換。</p> <p>③2階研修室の暗幕の破れ、1階管理室・2階研究室のブラインド故障のため交換。</p> <p>④トイレの洗面下S字パイプ腐食に伴い、男・女トイレのパイプ取替。</p> <p>⑤職員による機器の状況点検など効果的な維持保全に努めた。</p> <p>(6) 清掃業務</p> <p>①通常の清掃業務に加え、自主的に館周辺の草刈や清掃を実施した。</p> <p>(7) 警備業務</p> <p>①通常の機械警備に加え、災害やトラブル発生の際、緊急ネットワークが機能するよう緊急連絡先及び緊急連絡対応体制の掲示を行った。</p>

	<p>(8) 環境への配慮</p> <p>①年間を通した空調温度の見直し、OA機器の適正使用、こまめな消灯の実施など、環境保全の推進と経費削減に努めた。</p> <p>②ゴミ箱の共用化、種類別の設置などによりゴミの分別と少量化に努めた。</p>												
利用状況	<p>【2月29日から3月31日まで、新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館】</p> <p>教育委員会が、滋賀県立安土城考古博物館や大分県埋蔵文化財センターなどへの資料貸出、続日本百名城のスタンプラリーが行なわれるなど府外からの注目もあり、市内はもとより市外からも多く来館者があった。来館者は指定管理者職員による展示内容の丁寧な解説でゆっくりと見学し、四條畷の歴史を広くPRすることができた。</p> <p>また、例年と同様に小学校3年生の「昔のくらし」の校外学習で畷古文化研究保存会の協力を得て、子どもたちが実物に触れる体験学習を実施した。</p> <p>前年度と比較し、新型コロナウイルス拡散防止のため開館日数が減少する条件のもと、個人の利用が大幅に減少したが、学校・保育所と一般団体は増加し、利用者数は全体で8.1%の減少となった。しかし、1日あたりの来館者数は前年度35人から今年度36人に増加しており、評価できる。</p> <table border="0"> <tr> <td>・学校・保育所</td> <td>521人(5.5%増)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・一般団体</td> <td>2,202人(5.3%増)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・個人</td> <td>6,109人(13.1%減)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,832人(8.1%減)</td> <td>※開館日数 245日(27日減)</td> </tr> </table>	・学校・保育所	521人(5.5%増)		・一般団体	2,202人(5.3%増)		・個人	6,109人(13.1%減)		合計	8,832人(8.1%減)	※開館日数 245日(27日減)
・学校・保育所	521人(5.5%増)												
・一般団体	2,202人(5.3%増)												
・個人	6,109人(13.1%減)												
合計	8,832人(8.1%減)	※開館日数 245日(27日減)											
収支状況	<p>当年度収入11,438,835円(指定管理料収入:11,176,000円、自主事業収入:262,835円)に対し、支出11,422,502円で、収支は16,333円の黒字。</p>												

3 利用者へのアンケート調査

項目	令和元年度の状況
調査の実施内容	<p>対象：施設利用者</p> <p>調査期間：平成31年4月1日～令和2年2月28日</p> <p>調査方法：アンケート用紙と箱を展示室に設置。自由に記入してもらう</p> <p>回答件数：143件</p>
調査の結果	<p>どちらから来館したか：市内77人(54%)、市外66人(46%)。</p> <p>他府県として京都府・兵庫県・滋賀県・岡山県・愛知県・静岡県・東京都あり。</p> <p>スタッフの対応：「満足」が85%</p> <p>「やや満足」を含めると97%</p> <p>展示の解説への対応：「分かった」が80%</p> <p>「だいたい分かった」を含めると97%</p>
主な苦情・意見等	<p>【意見・要望、イベントの希望など】</p> <p>○ 小学生以下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争のことを知りたいです。(市内小学生の男性) ・昔の道具を使った紹介。(市内小学生の女性) ・綿の木から種と綿をわける器械をやるイベント。(市内小学生の男性) ・戦国時代の武器が見たい。(市内小学生の男性) <p>○ 40～59歳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実した展示物で非常に満足しました。(静岡県の男性) ・飯盛城・田原城の発掘調査情報を希望します。(大阪市の男性) ・スタンプがなくても親切な展示でした、駐車場が狭いのが難ぎでしょ

	<p>うか。(滋賀県の男性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅からの道が少し判りにくくて迷いながらだったので、道標を判りやすくして頂ければ助かります。(神戸市の男性) <p>○ 60歳以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧でわかりやすい説明に感謝します、今回は銅鐸の音を聴くことができました。以前は鍬の柄の角度を実演で教えてもらった。(寝屋川市の男性) ・館長様にたいへん詳細に説明をして頂きよく理解できた。昨年、訪れるも休みでした。また特別展に来てみたい。(奈良県上牧町の男性) ・親切丁寧に教えて頂き感謝しています。小さな資料館の良さだと思います。これからも子どもたちに郷土の誇りを持たせてやって下さい。(豊中市の男性) ・土地勘が無いので、現在の土地図の一部でも添付していたら。別の機会に観に行くときに役立つかなと思います。(市内の男性)
--	---

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ●4 ○3 ○2 ○1
講 評	<p>来館者へのアンケート調査結果によると、スタッフの対応については97%の方が「満足」・「やや満足」という結果であった。また展示の解説への対応は97%の方が「分かった」「だいたい分かった」という結果で、ほとんどの人に展示解説内容を理解していただけている。</p> <p>施設の運営面では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため前年度と比較して開館日数が減少する条件のもと、1日あたりの入館者数は36人と昨年より増加させた点が評価できる。市が実施する特別展などへ全面的に協力し、それに合わせ展示更新を行っており、市担当部局との連携が顕著である。また、例年どおり3年生の「昔のくらし」の校外学習で、畷古文化研究保存会の会員の協力を得て子供たちが実物に触れる体験学習を実施したことは、子どもたちへ郷土の歴史や文化に触れる機会を提供するという点で今後とも継続していただきたい。</p> <p>施設の管理面では、施設内にとどまらず周辺の清掃も実施し周辺環境に配慮している点などが顕著であり評価できる。</p> <p>以上の内容から「計画内容をやや上回るために努力している」と判断し、評価を「4」とする。</p>

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る結果 (担当部局として非常に満足できる結果)
- 4 計画内容をやや上回る結果 (担当部局として満足できる結果)
- 3 計画内容どおりの結果 (担当部局として妥当と判断する結果)
- 2 計画内容をやや下回る結果 (担当部局として不満が残る結果)
- 1 計画内容を下回る結果 (担当部局として非常に不満が残る結果)